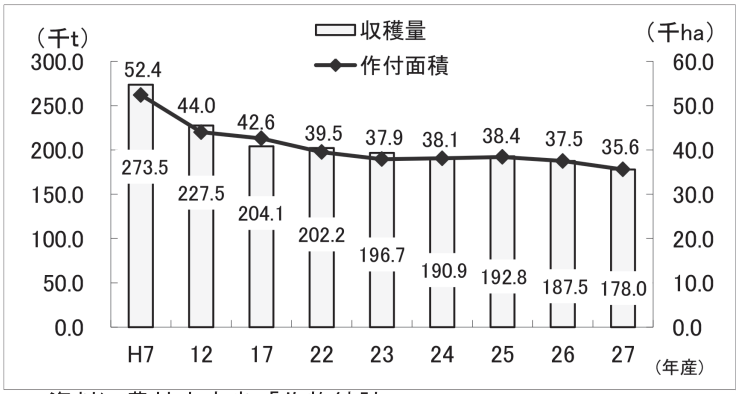
3－6　作物別生産状況　（3）米

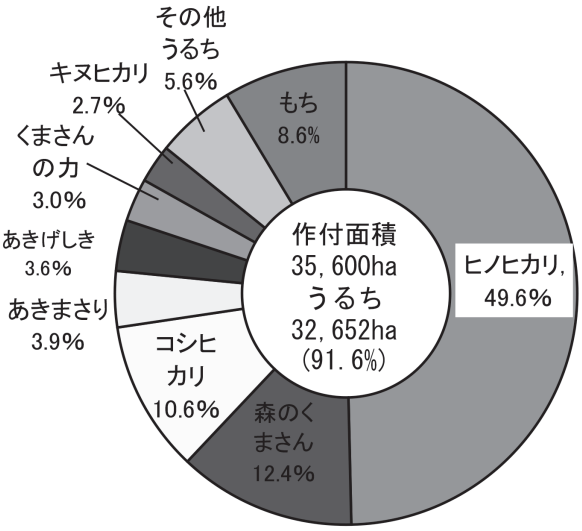
○本県は、西日本最大級の米生産県であり、多様な気象条件を生かした良質米栽培が行われています。２７年産水稲の主な品種は、「ヒノヒカリ」、「森のくまさん」、「コシヒカリ」の３品種で、作付面積の約７３％を占めています。
○耐暑性新品種「くまさんの力」は、平坦部を中心に普及しており、１等比率の向上など品質改善に効果を発揮しています。
○　米粉用米・飼料用米については、水田フル活用に向け、加工用米等から転換され、２７年産は前年に比べ作付が増加しています。
○２６年産県産米の集荷状況は、経済連を含む農協グループが約４割を占めています。また、集荷された県産米の主な出荷先は、県内が７４％と最も多く、次いで九州、関西へ多く出荷しています。　【平成２６年農業産出額　米：３５３億円（構成比１０.８％）】

水稲の収穫量、作付面積（H27 年）



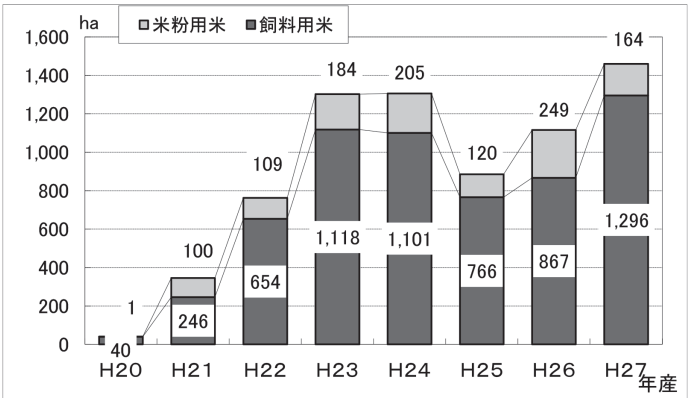
資料）農林水産省「作物統計」

品種別水稲作付面積（H27 年）



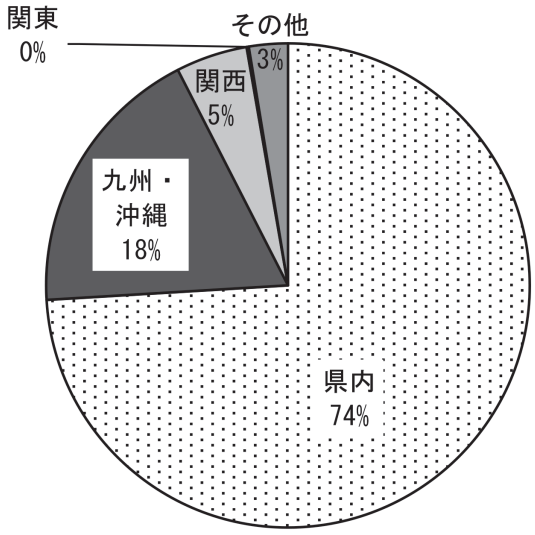
資料）県農産園芸課調べ

米粉用米・飼料用米作付面積（H27 年）



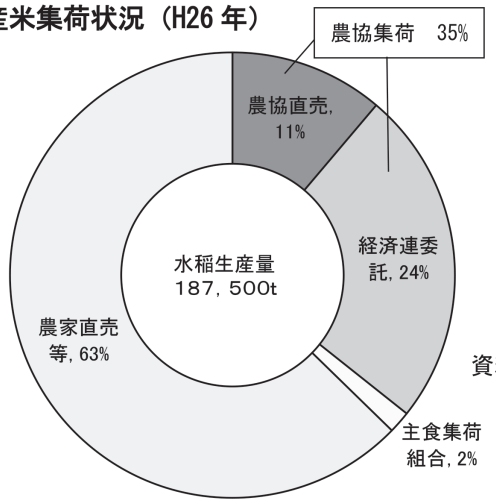
資料）農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」

県産米（うるち米）の出荷先別割合（H26 年）



資料）県農産園芸課調べ

県産米集荷状況（H26 年）

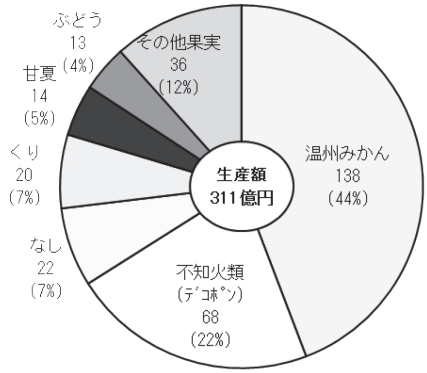


資料）県農産園芸課調べ

3－6　作物別生産状況　（4）果樹

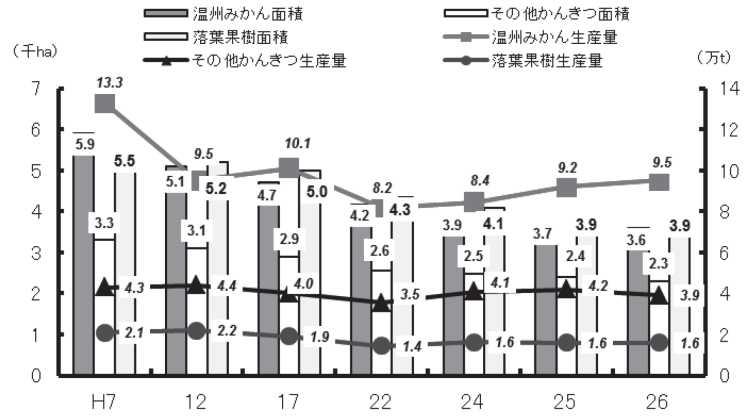
○本県の果樹は、主に海岸地域においては、温州みかん、不知火類（デコポン）、甘夏等の常緑果樹が栽培され、中山間地域では、くり、なし、かき、ぶどう、もも等の落葉果樹が栽培されています。【平成２６年農業産出額　果実：３１１億円(構成比 9.5%)】

果樹産出額（Ｈ２６年）



(資料)農林水産省「生産農業所得統計」
(注)数値は品目ごとの産出額(単位：億円)

果樹の栽培面積と生産量の推移

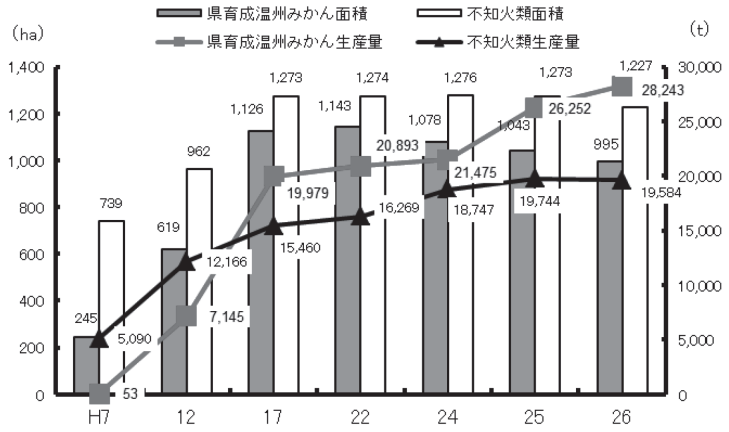


（資料）熊本県果樹振興実績書

＜温州みかん＞

信頼ある産地づくりに向けて、毎年安定した生産・出荷量の確保やシートマルチ栽培による高品質生産に取り組んでいます。

県育成温州みかん・不知火類の栽培面積と生産量の推移



（資料）熊本県果樹振興実績書

＜不知火類（デコポン）＞

本県は、全国一の産地です。県が育成した「肥の豊」の導入や 12 月～6 月までの長期安定出荷に取り組んでいます。

＜なし「秋麗」＞

８月中・下旬に収穫される「秋麗」は、西洋なしのような外観と際立つ甘さが特徴で、全国に先駆けてブランド化に取り組んでいます。

＜基盤整備の推進＞

かんきつ園では、作業道の整備やスピードスプレーヤーなどの省力化機械の導入により、農作業の省力化が進められています。